

静岡県焼津市(企業誘致に向けた取り組み及び企業支援について)
静岡県御前崎市(農業振興拠点を備えた道の駅について)

焼津市では、水産加工団地を設けて企業誘致を行っており、石油化学工場や、伏流水を利用した食品工場が多く操業しています。また誘致策として、①「産業立地促進事業費補助金」、②「産業立地奨励事業費補助金」、③「立地工場等継続強化事業費補助金」を実施しています。(各種受給要件あり)。市の多くが市街化調整区域(70.3%)であり、開発に困難が生じています。水産加工業団地では、公害防止協定を企業団体と地元で結び、住環境に配慮しています。

御前崎市では、海岸部ではメロン・イチゴ・大根など、丘陵地ではお茶の栽培がされています。道の駅の開設は、静岡県農業試験場海岸砂地分場払下げを契機とし、国道150号に道路休憩施設がないため整備・開発を実施しました。

施設概要及び取り組み 風のマルシエ御前崎(道の駅)は、地域情報提供施設機能に加えて農産物直売所・展示温室・イベント広場・農産物加



工施設・研修交流施設・実証ほ場・先端農業ハウスを有しています。また、平成26年4月開業以来約20万人の集客実績があります。なお課題は直売所における品揃えです。
企業誘致における地域住民への住環境への配慮や道の駅における施設充実策・課題については、傾聴すべき視点を痛感しました。

市統合庁舎既存棟を見学

昨年の11月12日に庁舎建設等調査特別委員会を開催し、統合庁舎建設・改修工事契約の変更について協議しました(詳細は2ページの特集をご覧ください)。特別委員会終了後に委員及び傍聴議員で、耐震改修工事をほぼ終えた既存棟を見学しました。

1階には、市民ラウンジや情報コーナーなど、市民が集えるスペースが確保されています。その他については、書庫や会議室が大部分となっています。

これは、経費削減の考えから、会議室などを耐震改修した既存棟に確保することにより、増築棟の建築面積を減らす目的から生まれたものです。

3月下旬には各支所からの引っ越しが終了し、統合庁舎が本格的に稼働します。今後増築棟は「北館」、既存棟は「南館」と呼ばれます。

より利用しやすい庁舎と市民の皆様から言ってもらえるよう議員としてこれからも提案をしていきます。

